

2018年11月19日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

慶應義塾に SNS アカウントを活用する ID 管理システムを提供 学校と利用者とのコミュニケーションを活性化

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、慶應義塾(塾長:長谷山 彰)に各種オンラインサービスで SNS(ソーシャルネットワークサービス)のアカウントを利用した会員登録やログインを可能とする ID 管理システム「CTC B2C ID 基盤」を提供しました。慶應義塾は 2018 年 11 月から本システムでの ID 管理の運用を開始します。

慶應義塾は 1858 年に創立され、首都圏に主要な 6 つのキャンパスを構え、33,000 名を超える学生が在籍しています。学校と利用者とのコミュニケーションの活性化に取り組んでおり、より簡易かつ効果的にコミュニケーションを行うためのツールとして CTC B2C ID 基盤を導入しました。

CTC B2C ID 基盤は、Web サイトやモバイルアプリに対して、LINE や Facebook といった SNS アカウントを利用した会員登録やログインを可能にし、ユーザーごとの SNS 環境に応じて必要な情報の通知を行える ID 管理システムです。マイクロソフト社のクラウド型 ID 管理ソリューション「Microsoft Azure Active Directory B2C」をベースとして CTC が開発した基盤で、なりすましによる不正なログインを防ぐ Capy 社の「Capy リスクベース認証」を組み込み、SNS アカウントによるログインについて安全性を向上しています。

今後 CTC は、CTC B2C ID 基盤に、証明書の発行や登録情報の変更手続きなどでの本人確認の機能を追加する予定です。

■Capy 社について

Capy 株式会社は、クラウド型の不正ログイン・不正アクセス・なりすまし対策サービスを提供する会社です。「Capy パズル CAPTCHA」に代表されるサービスは、大手クレジットカード会社、ゲーム会社、ポータルサイトなどの不正ログイン・不正アクセスなどのボットを利用した攻撃の対策に広く採用されています。

<https://www.capy.me/jp/>

今回のプレスリリースにあたり、各社からコメントをいただいております。

「Capy リスクベース認証」が、CTC の提供する B2C ID の安全性の向上に一役買える事を大変嬉しく思います。Capy は不正ログイン・不正アクセスへの対策に特化したサービスの開発・研究を行なっております。サービスのさらなる品質・精度の向上を目指し全力で取り組んで参ります。

Capy 株式会社
プロダクトマネジメント部
部長 小林 悟朗

CTC の Azure AD B2C の SNS 連携機能を拡張し、日本国内で利用者数の多い SNS に対応した B2C ID の慶應義塾様への導入事例発表を心より歓迎いたします。近年大学においては学生アイデンティティのライフサイクル管理が重要になってきています。B2C ID は、日本の学生に新たなデジタルアイデンティティをもたらすソリューションであると、大変期待しております。

日本マイクロソフト株式会社
業務執行役員
文教営業統括本部長 中井 陽子

- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部
TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp